

カリキュラムマップ A領域 教職教養領域（令和元年度以降入学生用）

## カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域【小学校教育専攻】（令和元年度以降入学生用）

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域【特別支援教育専攻】（令和元年度以降入学生用）

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域〔国語科教育専攻〕（令和元年度以降入学生用）

## カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域【英語科教育専攻】（令和元年度以降入学生用）

						階層4																
階層1	階層2 ディプロマポリシー(DP)	階層3	達成目標																			
			(年) (期)																			
教育実践力	学校理解	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育史・思想に関する基礎理論・知識を習得している。																			
		学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・法律的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得している。																			
		教職の意義	教職の意義について基礎的な理解をしている。																			
		教育課程の編成	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得している。																			
	学習者理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得している。																			
		学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得している。																			
		特別支援を必要とする子どもについての理解	特別な支援を必要とする学習者(子ども)を理解するために必要な基礎理論・知識を習得している。																			
		生徒指導・進路指導	児童生徒指導や進路指導、教育相談に必要な基礎理論・知識を習得している。																			
	教科基礎知識・技能	道徳教育	道徳教育の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得している。																			
		特別活動	特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得している。																			
		総合的な学習(探究)の時間	「総合的な学習(探究)の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得している。																			
	授業実践	ICTの活用	ICTの活用に係る基礎理論・知識を習得している。																			
		学習者に対する教育学・心理学的理解	学習者(子ども)に対する教育学・心理学的理解に必要な基礎理論・知識を習得している。																			
		学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得している。																			
対人関係力	リーダーシップ・協力	リーダーシップ	集団で活動するさい、リーダーシップを発揮することができる。																			
		フォロワーシップ	集団で活動するさい、グループの仲間と協同してリーダーを支え、グループの課題に取り組むことができる。																			
		役割遂行	集団で活動するさい、率先して自らの役割をみつけたり、または与えられた役割をきちんとこなしたりすることができる。																			
	社会参加	地域社会への貢献	地域社会を取り巻く状況(自然・歴史・文化)を理解し、その社会に貢献することについて自分なりの考え方や意欲を持っている。																			
		論理的コミュニケーション	物事を論理的に考え、それを言葉によって表現することができる。																			
	コミュニケーション	パフォーマンス	集団で活動するさい、積極的行動を起こしたり、豊かな表情で人とかかわり合ったりすることができる。																			
		訊ねる力	他の人の言葉に耳を傾け、それを理解したり、判らないときは訊ね返したりすることができる。																			
		プレゼンテーション能力	自らが調べた結果を他者に適切に伝えるための基礎的な技能を身に付けています。																			
自己深化力	探求力	問題発見	教職に対する基本的な理解に基づいて、追究すべき問題をみつけることができる。																			
		仮説構築	疑問に思った事柄について、筋道の通った仮説を立てることができる。																			
		調査分析・実証	疑問に思ったことや与えられた課題について、適切な方法で調査・分析し、実証する方法を身に付けています。																			
	教師像・倫理	教職の社会的役割・倫理	教職の社会的役割や倫理について理解している。																			
		人権・多様性への認識	多様な価値観の存在を認識し、人権を尊重する考え方を身に付けています。																			
		理論と実践の往還	大学での学習(理論)と学校現場等での教育(実践)の双方を意識しながら自らの資質向上に取り組んでいる。																			
	リテラシー	教育関係時事問題	広く教育をめぐる時事問題に関心を持ち、自分なりの意見を持つことができる。																			
		教育関係以外の時事問題	教育の領域以外の社会問題や時事問題に関心を持ち、自分なりの意見をもつことができる。																			
		「探究力」を支える基礎的リテラシー	教育問題や社会問題等に関する情報を適切に収集し分析するための技法を身に付けています。																			
		ICTの活用に係る基礎的技能	コンピュータを活用して必要な情報収集やデータ処理、プレゼンテーションなどを行うことができる。																			

## カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域【社会科教育専攻】（令和元年度以降入学生用）

## カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域〔理科教育専攻〕（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー(DP)	階層3	達成目標
			(年) (期)
教育実践力	学校理解	理科教育課程1	学習指導要領(理科)の概要を理解することができる。
		理科教育課程2	現行の小学校、中学校、高等学校の理科教科書の内容を理解することができる。
	学習者理解	学習者の自然認識	児童・生徒の自然認識や科学的思考能力を評価・指導する能力を身につけることができる。
		物質エネルギー科学(物理学)	既習の物理学について、理科教師として十分な知識を修得することができる。
	教科基礎知識・技能	物質エネルギー科学(物理学実験)	既習の物理学実験について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。
		物質エネルギー科学(化学)	既習の化学について、理科教師として十分な知識を修得することができる。
		物質エネルギー科学(化学実験)	既習の化学実験について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。
		生命地球科学(生物学)	既習の生物学について、理科教師として十分な知識を修得することができる。
		生命地球科学(生物学実験)	既習の生物学実験について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。
	授業実践	生命地球科学(地学)	既習の地学について、理科教師として十分な知識を修得することができる。
		生命地球科学(地学実験)	既習の地学実験について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。
		総合自然科学	既習の総合自然科学について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。
		理科教育学実験	既習の理科教育学実験について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。
		理科内容構成研究	既習の理科内容構成研究について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。
対人関係力	リーダーシップ・協力	理科共同授業実践力	他者と共同して理科の授業を企画運営し、展開することができる。
		理科共同研究力	他者と共同して研究計画を立案し、展開することができる。
	社会参加	地域社会への貢献	地域社会における自然教育活動に関する基本的な知識や態度を身につけることができる。
		論理的コミュニケーション	自分の考えを論理的に表現することができる。
	子どもコミュニケーション	学習者の発達や個性に対応して、適切に接することができる。	
自己深化力	探求力	問題意識	自分の専門領域の基本的理解に基づいて、追及すべき問題を発見し、課題設定することができる。
		調査	問題解決するために研究仮説を設定しながら、観察実験・資料収集の計画を立て実施することができる。
		分析・処理	観察・実験結果や資料・文献を解釈し、自分なりの見解を導くことができる。
		表現の力	一連の探究により得られた結果を適切に表現し、他の人に伝えることができる。
	教師像・倫理	理科教師像	理科教師の社会的役割や倫理について理解することができる。
		理論と実践の往還	大学での学習(理論)と義務教育学校での実習(実践)の双方を意識しながら自らの資質向上に取り組むことができる。
	リテラシー	理科教育リテラシー	理科教師として必要とされる基礎的基本的な力を身につけ、教育実践に参加することができる。

カリキュラムマップ (B領域) 主専攻領域 [ 数学科教育専攻 ] (令和元年度以降入学生用)

階層1	階層2 ディプロマポリシー(DP)	階層3	達成目標																		
			(年) (期)																		
教育実践力	学校理解	数学科教育課程	中学校及び高等学校の数学科の学習指導要領の目標、主な内容、全体構造を理解している。																O	O	O
	学習者理解	学習者理解	現在の生徒の数学に対する認識・思考、学力がどの程度の水準にあるか理解している。																O	O	O
	教科基礎知識・技能	代数学	受講した代数学の内容について理解している。																		
		幾何学	受講した幾何学の内容について理解している。																		
		解析学	受講した解析学の内容について理解している。																		
		応用数学	受講した応用数学の内容について理解している。																		
		教育情報学	受講した教育情報学の内容について理解している。																		
		教科教育学	数学科授業デザインに関わる数学教育学の主要な理論や実践研究の動向を理解している																O	O	
		数学言語力	数学的回答やレポートをきちんと書くことができる																	O	O
	授業実践	問題発見・作成力	身近なことからや新聞・テレビ等の内容などから、数学の題材を発見し、問題として定式化できる。																	O	O
		数学科教材研究力	専門的な数学の知識および数学教育学の知見を踏まえて数学科の教材研究ができる。																O	O	O
		数学科授業デザイン力	学習指導案の構成を理解し、数学科の授業デザインを行い、学習指導案を作成できる。																O	O	O
		指導上の留意点の理解	各指導内容の指導上の留意点を理解している。																O	O	O
		数学科における学習評価	数学科における学習評価について理解している。																	O	
		数学科授業改善力	自分の行った授業の振り返りを通して、授業改善をることができる。																O	O	O
		発展的内容の指導	数学の活用や発展的な内容などを、学習指導に取り入れることができる。																O		
対人関係力	リーダーシップ・協力	協働実践力	数学科の授業デザインから実施、振り返りに至るまで、他者と協働して取り組むことができる。															O	O	O	O
	社会参加	社会との関係	数学が社会に対してはたす役割や、数学が教科として教えられている理由を理解している。																O		
	コミュニケーション	発表力	数学の題材について、人前で発表できる。																O	O	O
		子どもコミュニケーション	学習者理解に基づき、適切に発問や支援ができる。																O		
自己深化力	探求力	問題意識・知識	数学・数学教育の本や雑誌などを読んでいる。																O	O	O
		調査・分析	授業で習うことから教材に関する本や資料を、自分で見つけ分析することができる。															O	O	O	O
	教師像・倫理	関心	教科を教えるものとして、数学の歴史や社会で扱われる数学的なことからなどに関心をもつ。															O	O	O	O
		計算	種々の計算法の原理を理解し、実行することができる。															O	O	O	O
	リテラシー	式・図・グラフ理解	式や図・グラフで表現したり、数式や図・グラフを使いこなすことができる。															O	O	O	O
		情報機器及び教材の活用	数学科の特性に応じて適切に情報機器や教材の活用することを意図した授業デザインができる。															O	O	O	O

階層4																					卒業研究							
代数学			幾何学			解析学			応用数学			教育情報学			数学科教育学			数学科内容構成研究										
線型代数学I	線型代数学II	代数学I	代数学II	幾何学I	幾何学II	幾何学統論A	幾何学統論B	微分積分学I	微分積分学II	微分積分学III	関数論	確率論・統計学I	確率論・統計学II	応用数学概論I	応用数学概論II	コンピュータI	コンピュータII	情報数学I	情報数学II	数学科教育法概説I	数学科教育法概説II	数学科教育法臨床	数学科基礎内容教育構成内容A	数学科基礎内容教育構成内容B	数学科基礎内容教育構成内容A	数学科基礎内容教育構成内容B	数学科基礎内容教育構成内容A	数学科基礎内容教育構成内容B
1	2	2	3	1	2	2	3	1	2	2	3	2	2	2	1	2	2	1	2	2	1							
後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	前	後	後	前	後	前	後	前	後	前							

## カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域【保健体育科教育専攻】（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー(DP)	階層3	達成目標
			(年) (期)

## カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域〔音楽科教育専攻〕（令和元年度以降入学生用）

			達成目標
階層1	階層2 ディプロマポリシー(DP)	階層3	
			(年) (期)
教育実践力	学校理解	音楽科教育課程	学習指導要領(音楽)の概要を理解している。
	学習者理解	児童・生徒の音楽表現	児童・生徒の音楽表現を評価・指導する能力を持っている。
	教科基礎知識・技能	ソルフェージュ	既習のソルフェージュについて十分な能力を持っている。
		声楽	既習の声楽について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。
		合唱	既習の合唱について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。
		器楽Ⅰ(ピアノ)	既習のピアノについて、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。
		器楽Ⅱ(管・弦・打)	既習の管弦打楽器について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。
		合奏	既習の合奏について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。
		伴奏法	既習の伴奏法について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。
		和楽器	既習の和楽器について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。
		指揮法	既習の指揮法について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。
		作・編曲法	既習の作・編曲法の内容について理解し、実践する十分な能力を持っている。
		音楽史	既習の音楽史の内容について理解している。
		音楽学	既習の音楽学の内容について理解している。
		複合領域実践力	音楽科各領域を複合的に実践する能力を持っている。
		音楽科教育学	既習の音楽科教育学の内容について理解している。
	授業実践	音楽科教材分析力	音楽の授業を観察・記録する能力を持っている。
		音楽科授業構想力	音楽の授業を構想し、指導案としてまとめる能力を持っている。
		音楽科授業展開力	学習者との関係に基づいて、実際の音楽の授業を展開する能力を持っている。
		音楽科授業評価・反省	他者または自分の音楽の授業を分析したり、反省的に評価する能力を持っている。
		音楽科授業開発力	音楽の授業で用いる補助教材・楽譜等を開発・作成する能力を持っている。
対人関係力	リーダーシップ・協力	音楽科協同実践・研究力	音楽教師同士、または他教科教師とのT.T.を企画し、展開する能力を持っている。
		学校行事の音楽活動	学校行事における音楽活動の企画・実践力を持っている。
	社会参加	音楽活動企画・実践力	音楽部活動や音楽社会活動に関する企画・実践力を持っている。
	コミュニケーション	論理的コミュニケーション	自分の考えを論理的に表現することができる。
		子どもコミュニケーション	子どもたちの発達過程を考慮して、適切に接することができる。
自己深化力	探求力	問題意識	自分の専門領域に関して、解決すべき問題を見つけることができる。
		音響理解	音環境に対する関心・理解がある。
		論理性	音楽作品・演奏等を論理的に捉える能力を持っている。
		演奏・創作・表現の力	演奏・創作・表現いずれかの専門的な能力を持っている。
	教師像・倫理	音楽科教師像	音楽教師の社会的役割について理解している。
	リテラシー	音楽の情報収集・活用	音楽に関連する正しい情報を収集し、活用する能力を持っている。

## カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域〔美術科教育専攻〕（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー(DP)	階層3	達成目標
			(年) (期)
教育実践力	学校理解	美術科教育課程	中学校学習指導要領(美術編)の概要を理解している。
	学習者理解	学習者の表現理解	子どもや学習者の表現活動の発達を広く理解し、適切な指導ができる。
	教科基礎知識・技能	基礎的芸術観	美術諸領域の基礎的な課題や問題とそれらの相互関係を理解している。
		基礎的造形力	美術諸領域の基礎的な造形力を身につけている。
		絵画	絵画に関する基礎的な知識・技能を習得している。
		彫刻	彫刻に関する基礎的な知識・技能を習得している。
		デザイン	デザインに関する基礎的な知識・技能を習得している。
		工芸	工芸に関する基礎的な知識・技能を習得している。
		美術理論・美術史	美術理論・美術史に関する基礎的な知識を習得している。
		美術科教育学	美術科教育学に関する基礎的な知識を習得している。
	授業実践	美術科教材分析力	美術の基礎的な知識・技能を用いて、美術科の授業を観察・記録することができる。
		美術科授業構想力	美術科の授業を構想し、指導案にまとめることができる。
		美術科授業展開力	学習者とのかかわりに基づいて、美術科の授業を展開することができる。
		美術科授業評価・反省	観察授業や自分の行った授業について分析したり、反省的に評価することができる。
		美術科授業開発力	美術科授業の題材開発や、提示作品・教具づくりをすることができる。
対人関係力	リーダーシップ・協力	美術科授業協同力	他者と協同して、美術科の題材開発や授業展開を工夫・改善することができる。
	社会参加	社会参加型芸術活動	芸術活動の社会的役割を認識し、企画することができる。
	コミュニケーション	論理的コミュニケーション	自分の考えを、論理的に説明することができる。
		プレゼンテーション	作品のコンセプトなどを、様々な手段を用いて他者に適切に伝えることができる。
		子どもコミュニケーション	子どもの発達段階を考慮して、発話や態度など適切に接することができる。
自己深化力	探求力	問題意識の発見	美術専門領域においての問題を認識することができる。
		問題意識の深化	美術専門領域においての問題意識、研究課題を設定することができる。
		知識と調査	美術専門領域において深化した知識を持ち、調査によって補うことができる。
		造形力	美術専門領域において深化した造形力を持ち、応用することができる。
	教師像・倫理	美術教師の社会的役割	美術教師の社会的役割について理解している。
	リテラシー	アカデミックスキル	ICTを利用するなどして資料文献を読み解き、それらを活用することができる。